

真剣だけど笑い溢れるゼミ

松本ゼミ —国際協力を捉える視点—

国際社会コース

松本ゼミってどんなゼミ？

「国際協力」をテーマに、ゼミ生同士の議論を中心に活動を行っています。昨年度は、春学期に国際協力・調査方法に関する文献を扱い、夏季休暇には自由参加の海外フィールドワーク、秋学期には学会や卒論執筆に向け、より実践的な内容に取り組みました。「なぜ」を問うことを大切に、国際文化学部生らしく多様な視点で物事を考える力を養っています。

- ◆人数 4年生 13名（うち4名が留学組）
- ◆男女比 3:10



教授紹介

まつもとさとる
松本 悟教授



- 〈経歴〉 NHK 記者、ラオスでの開発協力 NGO 活動、アドボカシー NGO 活動、事業仕分け等
- 〈現職〉 法政大学国際文化学部教授、政府委員（外務省、財務省、JICA、JETRO）、NGO の顧問・理事等
- 〈学位〉 経済学士、Master of Science（地理学）、学術博士（国際協力）

松本ゼミの特徴

◆2年間かけて卒論を書き上げる

ゼミに入ってから、各自研究テーマを決めます。卒論進捗発表を通してそれぞれの研究テーマについてゼミ生皆で議論を行い、意見やアドバイスを出し合いながら2年間で書き上げます。

国際協力分野のスタディーツアーと人材育成、留学生の異文化適応とカルチャーショック、消滅危機言語、姉妹都市、タスマニアの森林伐採問題、地中海難民、世界遺産、中国農村留守児童、初等教育の中退をなくすために（過去の卒論テーマ）

◆海外フィールドワーク（夏季休暇／自由参加）



実際に国際協力の現場を訪れ、問題意識を持って聞き取りやボランティア活動などに取り組みます。昨年度はミャンマーで少数民族・ティラワ経済特別区開発についての調査を行いました。

◆「なぜ」を大切にする



様々な事象に対して「なぜ」を問い、そこから見てくることを突き詰める姿勢を大切にしながら日々学んでいます。

◆その場限りで終わらせない

毎回ゼミのフィードバックをeポートフォリオに書くことで、その場限りの議論や知識に終わらせないようにしています。

◆年間スケジュール（2016年度）

春学期

- ・国際協力・方法論に関する文献輪読+ディスカッション
- ・ライフヒストリー（3年生のみ）

夏季休暇

- ・フィールドワーク in ミャンマー（自由参加）
- ・合宿（卒論進捗発表）

秋学期

- ・ライフヒストリー発表
- ・国際文化情報学会
- ・卒論進捗発表